

高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限です。	
運用方針	世界の国際機関債等へ投資をすることにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。	
主要運用対象	高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)	新興国通貨建国際機関債マザーファンドおよび豪ドル債マザーファンドを主要投資対象とします。
	新興国通貨建国際機関債マザーファンド	相対的に金利の高い新興国通貨建で信用力の高い国際機関債を主要投資対象とします。
	豪ドル債マザーファンド	豪ドル建国際機関債、ソブリン債(国債、政府機関債等)及び豪ドル建地方債を主要投資対象とします。
組入制限	高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	新興国通貨建国際機関債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	豪ドル債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月24日(決算日が休日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配対象額の範囲は、利子・配当収入と売買益(評価益を含みません)等の全額とし、基準価額水準等を勘案して分配します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

運用報告書(全体版)

第100期(決算日)	2017年6月26日)
第101期(決算日)	2017年7月24日)
第102期(決算日)	2017年8月24日)
第103期(決算日)	2017年9月25日)
第104期(決算日)	2017年10月24日)
第105期(決算日)	2017年11月24日)

受益者のみなさまへ

平素は「高金利国際機関債ファンド(毎月決算型)」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第100期から第105期までの決算を行いましたので、当期間の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都港区虎ノ門三丁目4番7号

<http://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉
サポートデスク 0120-565787
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

◎最近5作成期の運用実績

作成期	決 算 期	基 準 価 額			参 考 指 数	債 組 比	券 入 率	純 資 産 額
		(分配落)	税 込 分	み 金 騰 落 率				
		円	円	%		%	%	百万円
第14作成期	(第76期) 2015年 6月24日	7,476	70	0.5	273.86	△0.5	90.7	7,437
	(第77期) 2015年 7月24日	7,167	70	△3.2	268.34	△2.0	90.5	6,958
	(第78期) 2015年 8月24日	6,630	70	△6.5	249.97	△6.8	92.5	6,200
	(第79期) 2015年 9月24日	6,178	50	△6.1	235.95	△5.6	90.8	5,624
	(第80期) 2015年10月26日	6,479	50	5.7	249.43	5.7	91.4	5,762
	(第81期) 2015年11月24日	6,543	50	1.8	250.60	0.5	91.1	5,723
第15作成期	(第82期) 2015年12月24日	6,182	50	△4.8	238.52	△4.8	91.4	5,296
	(第83期) 2016年 1月25日	5,789	50	△5.5	227.46	△4.6	90.3	4,865
	(第84期) 2016年 2月24日	5,630	50	△1.9	224.82	△1.2	90.0	4,665
	(第85期) 2016年 3月24日	5,810	50	4.1	239.15	6.4	91.0	4,737
	(第86期) 2016年 4月25日	5,890	50	2.2	244.91	2.4	93.0	4,734
	(第87期) 2016年 5月24日	5,477	50	△6.2	230.69	△5.8	93.4	4,388
第16作成期	(第88期) 2016年 6月24日	5,227	35	△3.9	234.78	1.8	94.3	4,114
	(第89期) 2016年 7月25日	5,526	35	6.4	237.02	1.0	94.4	4,264
	(第90期) 2016年 8月24日	5,319	35	△3.1	231.26	△2.4	94.0	4,014
	(第91期) 2016年 9月26日	5,256	35	△0.5	232.00	0.3	93.5	3,861
	(第92期) 2016年10月24日	5,437	35	4.1	236.61	2.0	92.3	3,912
	(第93期) 2016年11月24日	5,436	35	0.6	236.71	0.0	91.2	3,828
第17作成期	(第94期) 2016年12月26日	5,631	35	4.2	251.56	6.3	91.1	3,832
	(第95期) 2017年 1月24日	5,468	35	△2.3	247.73	△1.5	91.7	3,650
	(第96期) 2017年 2月24日	5,740	35	5.6	255.58	3.2	91.7	3,752
	(第97期) 2017年 3月24日	5,695	35	△0.2	256.66	0.4	92.7	3,658
	(第98期) 2017年 4月24日	5,592	35	△1.2	253.04	△1.4	93.3	3,566
	(第99期) 2017年 5月24日	5,595	35	0.7	262.10	3.6	91.9	3,523
第18作成期	(第100期) 2017年 6月26日	5,687	35	2.3	265.47	1.3	93.7	3,514
	(第101期) 2017年 7月24日	5,779	35	2.2	270.19	1.8	93.5	3,506
	(第102期) 2017年 8月24日	5,686	35	△1.0	266.90	△1.2	94.2	3,403
	(第103期) 2017年 9月25日	5,850	35	3.5	280.35	5.0	94.1	3,469
	(第104期) 2017年10月24日	5,617	35	△3.4	276.85	△1.2	93.5	3,291
	(第105期) 2017年11月24日	5,418	35	△2.9	269.89	△2.5	93.5	3,094

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしまして J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

(注4) J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド(J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド)は J.P.Morgan Securities LLC(J P モルガン)が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指数として広く認知されているものであり、J P モルガンの知的財産です。J P モルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)については基準価額との関連を考慮して前日の指数を記載しております。

◎ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		債 券 組 入 率
		円	騰 落 率 %		騰 落 率 %	
第100期	(期 首)2017年 5月24日	5,595	—	262.10	—	91.9
	5月末	5,584	△0.2	262.28	0.1	92.1
	(期 末)2017年 6月26日	5,722	2.3	265.47	1.3	93.7
第101期	(期 首)2017年 6月26日	5,687	—	265.47	—	93.7
	6月末	5,720	0.6	268.90	1.3	93.8
	(期 末)2017年 7月24日	5,814	2.2	270.19	1.8	93.5
第102期	(期 首)2017年 7月24日	5,779	—	270.19	—	93.5
	7月末	5,754	△0.4	269.85	△0.1	93.4
	(期 末)2017年 8月24日	5,721	△1.0	266.90	△1.2	94.2
第103期	(期 首)2017年 8月24日	5,686	—	266.90	—	94.2
	8月末	5,769	1.5	272.26	2.0	94.0
	(期 末)2017年 9月25日	5,885	3.5	280.35	5.0	94.1
第104期	(期 首)2017年 9月25日	5,850	—	280.35	—	94.1
	9月末	5,748	△1.7	276.55	△1.4	94.1
	(期 末)2017年10月24日	5,652	△3.4	276.85	△1.2	93.5
第105期	(期 首)2017年10月24日	5,617	—	276.85	—	93.5
	10月末	5,509	△1.9	271.65	△1.9	93.6
	(期 末)2017年11月24日	5,453	△2.9	269.89	△2.5	93.5

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

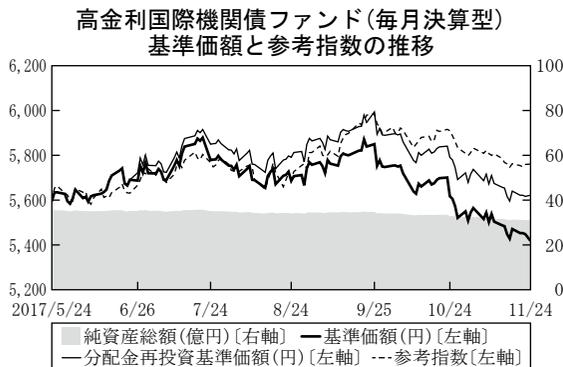
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

◎ 当作成期中の運用経過と今後の運用方針 (2017年5月25日～2017年11月24日)

1 基準価額と収益分配金

(1) 基準価額の推移と主な変動要因



※参考指数は作成期首の基準価額に合わせて指数化しております。
※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

作成期首の基準価額は5,595円で、作成期末の基準価額は5,418円(分配金落ち後)でした。当作成期の基準価額(分配金再投資)の騰落率は+0.5%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

(上昇要因)

- ・組入債券の利息が積み上がったこと
- ・豪州の主要貿易相手国である中国の景気回復が下支えとなり、豪ドルが円に対して強含みで推移したこと
- ・ブラジルがインフレの鎮静化を受けて作成期中に政策金利を4回引き下げたことなどから同国通貨建債券の価格が上昇(金利は低下)したこと

(下落要因)

- ・トルコの慢性的な経常赤字や根強いインフレ懸念、および米国との関係悪化などを受けて、同国通貨が円に対して下落したこと
- ・南アフリカの格付けが、投資適格水準から脱落する懸念が高まったことを受けて、同国通貨が円に対して下落したこと

(2) 参考指数との差異

当ファンドは新興国債券市場の動きを示すJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を参考指数としています。基準価額の騰落率(分配金再投資ベース)は+0.5%となりました。一方、参考指数の騰落率は+3.0%となり、騰落率の差異は△2.5%となりました。

この差異に関する主な要因は、当ファンドが投資対象としているマザーファンドのうち組入比率の高い新興国通貨建国際機関債マザーファンドの騰落率が参考指数の騰落率を下回ったためです。

(3) 収益分配金

収益分配金は利子収入と売買益(評価益を含みます)、基準価額水準等を勘案して1万口当たり次表のとおりとさせていただきます。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・％、1万口当たり、税引前)

項目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2017年5月25日 ～2017年6月26日	2017年6月27日 ～2017年7月24日	2017年7月25日 ～2017年8月24日	2017年8月25日 ～2017年9月25日	2017年9月26日 ～2017年10月24日	2017年10月25日 ～2017年11月24日
当期分配金 (対基準価額比率)	35 0.612	35 0.602	35 0.612	35 0.595	35 0.619	35 0.642
当期の収益	33	29	27	34	25	26
当期の収益以外	1	5	7	0	9	8
翌期繰越分配対象額	170	164	157	156	147	138

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

2 運用経過

(1) 運用概況

作成期首の運用方針に基づき、新興国通貨建国際機関債マザーファンドおよび豪ドル債マザーファンドへの投資を通じて、世界の国際機関債等へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。両マザーファンドの投資比率合計を高位に維持しました。当作成期を通じて新興国通貨建国際機関債マザーファンドは概ね77%～79%程度、豪ドル債マザーファンドは概ね18%～20%程度組み入れました。

※国際機関とは主に世界の各地域の経済発展のために複数国が協同して設立した国際的な組織です。複数の先進国が中心となり出資・運営・監督をしており、一般に信用力は高く、発展途上国等への資金供給のためにさまざまな通貨建の債券等を発行しています。

【信託財産の状況】

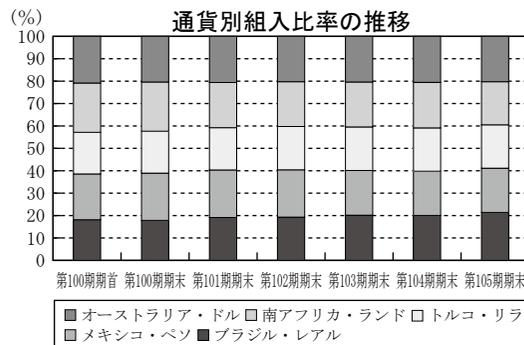
	作成期首	作成期末
外国債券	91.91%	93.53%
経過利息、現金等その他	8.09%	6.47%
組入銘柄数	20	22
デュレーション	2.44年	2.18年
残存年数	2.67年	2.38年
複利利回り	7.40%	7.62%
格付 A a a	100%	100%

※外国債券、経過利息、現金等その他の組入比率についてはマザーファンドへの投資を通じた数値

※格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズサービスによる格付を採用

※デュレーション：投資元本の平均回収期間のことで、債券価格の金利変動に対する感応度をあらわします。デュレーションが長い(大きい)ほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。金利が低下した場合、デュレーションが長いほど債券価格は大きく上昇します。一方、金利が上昇した場合、デュレーションが長いほど債券価格は大きく下落します。

通貨別組入比率の推移

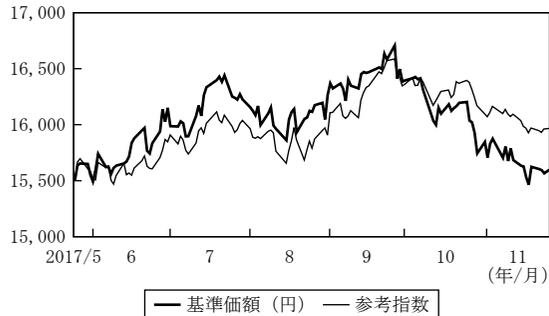


※組入債券の評価額合計に対する比率

(2) マザーファンドの運用概況 (2017年5月25日～2017年11月24日)

①新興国通貨建国際機関債マザーファンド

基準価額および参考指数の推移

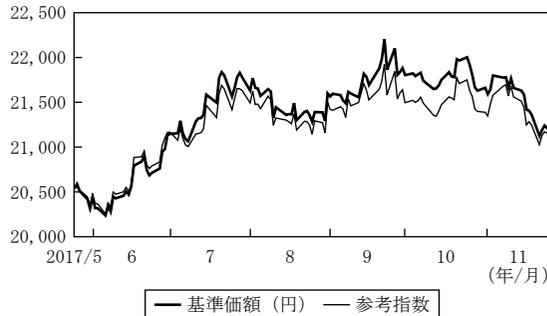


※参考指数(J Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース))は作成期首の基準価額にあわせ指数化しています。

当マザーファンドでは、作成期首の運用方針に基づき、主として新興国通貨建(ブラジルレアル、メキシコペソ、トルコリラ、南アフリカランド)で取得時においてA a a格相当の格付けを取得している国際機関債等へ分散投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。流動性などを勘案し銘柄を絞り込み、経済動向、金利水準を分析し、これら4通貨が均等になるように国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。有価証券の組入比率は高位を維持し、デュレーションについては作成期首2.18年でしたが、作成期末を1.85年としました。当作成期の基準価額の騰落率は+0.6%でした。当マザーファンドは新興国債券市場の動きを示すJ Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を参考指数としています。当作成期の参考指数の騰落率は+3.0%でした。

②豪ドル債マザーファンド

基準価額および参考指数の推移



※参考指数(シティ世界国債インデックス(オーストラリア 国内投信用、円ベース))は作成期首の基準価額にあわせ指数化しています。

当マザーファンドでは、作成期首の運用方針に基づき、取得時においてA a a格相当の格付けを取得している豪ドル建国際機関債に分散投資し、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指し運用を行いました。有価証券の組入比率は高位を維持し、デュレーションについては作成期首3.44年でしたが、作成期末を3.52年としました。作成期の騰落率は+3.1%でした。当マザーファンドはオーストラリア国債市場の動きを示すシティ世界国債インデックス(オーストラリア国内投信用、円ベース)を参考指数としています。当作成期の参考指数の騰落率は+2.9%でした。

3 今後の運用方針

(1) 当ファンドの運用方針

引き続き、新興国通貨建国際機関債マザーファンド、豪ドル債マザーファンドへの投資を通じて世界の国際機関債等に投資し、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行う方針です。両マザーファンドへの投資比率合計を高位に保つ方針です。

(2) 新興国通貨建国際機関債マザーファンドの運用方針

後述の同マザーファンドの運用報告書をご参照ください。

(3) 豪ドル債マザーファンドの運用方針

後述の同マザーファンドの運用報告書をご参照ください。

◎1万口当たりの費用明細

項目	第100期～第105期		項目の概要
	2017年5月25日～2017年11月24日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	34円	0.599%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×作成期末の信託報酬率 ※作成期間の平均基準価額は5,680円です。
(投信会社)	(15)	(0.272)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(17)	(0.299)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.027)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.016	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	35	0.615	

(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◎売買及び取引の状況(2017年5月25日～2017年11月24日)

○親投資信託の設定、解約状況

	第100期～第105期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	—	—	215,127	345,000
豪ドル債マザーファンド	—	—	55,868	120,000

(注) 単位未満は切り捨て。

◎利害関係人との取引状況等(2017年5月25日～2017年11月24日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○親投資信託残高

種 類	第17作成期末		第18作成期末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	1,767,744	1,552,616	2,421,771	2,421,771
豪ドル債マザーファンド	337,757	281,889	597,069	597,069

(注1) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 新興国通貨建国際機関債マザーファンド全体の当作成期末受益権口数は(1,552,616千口)です。

(注3) 豪ドル債マザーファンド全体の当作成期末受益権口数は(281,889千口)です。

◎投資信託財産の構成

2017年11月24日現在

項 目	第 18 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	2,421,771	77.5
豪ドル債マザーファンド	597,069	19.1
コール・ローン等、その他	104,721	3.4
投資信託財産総額	3,123,561	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 新興国通貨建国際機関債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(2,404,390千円)の投資信託財産総額(2,421,810千円)に対する比率は99.3%です。

(注3) 豪ドル債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(593,958千円)の投資信託財産総額(597,063千円)に対する比率は99.5%です。

(注4) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1メキシコペソ=5.98円、1ブラジルレアル=34.58円、1トルコリラ=28.38円、1オーストラリアドル=84.92円、1南アフリカランド=8.03円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2017年6月26日現在 2017年7月24日現在 2017年8月24日現在 2017年9月25日現在 2017年10月24日現在 2017年11月24日現在

項 目	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末
(A) 資 産	3,547,704,966円	3,540,574,477円	3,440,518,042円	3,523,127,159円	3,324,995,847円	3,123,561,783円
コール・ローン等	129,802,203	121,843,087	113,693,625	128,604,076	114,585,740	104,720,848
新興国通貨建国際機関債マザーファンド(評価額)	2,736,735,417	2,730,956,064	2,667,941,977	2,715,311,837	2,561,781,668	2,421,771,438
豪ドル債マザーファンド(評価額)	681,167,346	687,775,326	658,882,440	679,211,246	648,628,439	597,069,497
(B) 負 債	33,439,274	34,285,911	36,921,101	53,161,206	33,202,746	28,579,424
未払収益分配金	21,627,268	21,236,244	20,952,482	20,760,630	20,513,006	19,991,786
未払解約金	8,004,641	9,808,740	12,461,109	28,786,307	9,486,569	5,347,937
未払信託報酬	3,785,865	3,221,797	3,486,766	3,592,164	3,184,390	3,221,338
その他未払費用	21,500	19,130	20,744	22,105	18,781	18,363
(C) 純資産総額(A-B)	3,514,265,692	3,506,288,566	3,403,596,941	3,469,965,953	3,291,793,101	3,094,982,359
元 本	6,179,219,504	6,067,498,400	5,986,423,706	5,931,608,831	5,860,859,019	5,711,939,062
次期繰越損益金	△2,664,953,812	△2,561,209,834	△2,582,826,765	△2,461,642,878	△2,569,065,918	△2,616,956,703
(D) 受益権総口数	6,179,219,504口	6,067,498,400口	5,986,423,706口	5,931,608,831口	5,860,859,019口	5,711,939,062口
1万口当たり基準価額(C/D)	5.687円	5.779円	5.686円	5.850円	5.617円	5.418円

(注1) 当ファンドの第100期首元本額は6,297,542,064円、第100～105期中追加設定元本額は257,530,953円、第100～105期中一部解約元本額は843,133,955円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第100期0.5687円、第101期0.5779円、第102期0.5686円、第103期0.5850円、第104期0.5617円、第105期0.5418円です。

(注3) 純資産総額が元本額を下回っており、その額は第100期2,664,953,812円、第101期2,561,209,834円、第102期2,582,826,765円、第103期2,461,642,878円、第104期2,569,065,918円、第105期2,616,956,703円です。

◎損益の状況

項 目	〔自 2017年5月25日 至 2017年6月26日〕	〔自 2017年6月27日 至 2017年7月24日〕	〔自 2017年7月25日 至 2017年8月24日〕	〔自 2017年8月25日 至 2017年9月25日〕	〔自 2017年 9月26日 至 2017年10月24日〕	〔自 2017年10月25日 至 2017年11月24日〕
	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
(A) 有価証券売買損益	82,186,464円	80,004,340円	△ 31,292,929円	120,990,497円	△ 112,806,254円	△ 89,769,725円
売 買 益	83,052,804	80,828,216	598,308	122,698,533	1,277,467	1,747,680
売 買 損	△ 866,340	△ 823,876	△ 31,891,237	△ 1,708,036	△ 114,083,721	△ 91,517,405
(B) 信託報酬等	△ 3,809,647	△ 3,242,527	△ 3,509,973	△ 3,616,393	△ 3,204,833	△ 3,241,844
(C) 当期損益金(A+B)	78,376,817	76,761,813	△ 34,802,902	117,374,104	△ 116,011,087	△ 93,011,569
(D) 前期繰越損益金	△1,383,526,182	△1,299,501,133	△1,211,080,138	△1,229,007,951	△1,114,023,458	△1,207,961,293
(E) 追加信託差損益金	△1,338,177,179	△1,317,234,270	△1,315,991,243	△1,329,248,401	△1,318,518,367	△1,295,992,055
(配当等相当額)	(106,269,806)	(103,256,150)	(98,509,997)	(93,216,588)	(91,837,389)	(84,052,967)
(売買損益相当額)	(△1,444,446,985)	(△1,420,490,420)	(△1,414,501,240)	(△1,422,464,989)	(△1,410,355,756)	(△1,380,045,022)
(F) 計 (C+D+E)	△2,643,326,544	△2,539,973,590	△2,561,874,283	△2,440,882,248	△2,548,552,912	△2,596,964,917
(G) 収益分配金	△ 21,627,268	△ 21,236,244	△ 20,952,482	△ 20,760,630	△ 20,513,006	△ 19,991,786
次期繰越損益金(F+G)	△2,664,953,812	△2,561,209,834	△2,582,826,765	△2,461,642,878	△2,569,065,918	△2,616,956,703
追加信託差損益金	△1,339,363,267	△1,320,656,371	△1,320,507,991	△1,329,747,009	△1,324,155,526	△1,300,910,468
(配当等相当額)	(105,157,385)	(99,844,128)	(94,077,996)	(92,945,992)	(86,244,329)	(79,173,633)
(売買損益相当額)	(△1,444,520,652)	(△1,420,500,499)	(△1,414,585,987)	(△1,422,693,001)	(△1,410,399,855)	(△1,380,084,101)
繰越損益金	△1,325,590,545	△1,240,553,463	△1,262,318,774	△1,131,895,869	△1,244,910,392	△1,316,046,235

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第100期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(20,441,180円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(106,343,473円)より分配対象収益は126,784,653円(10,000口当たり205円)であり、うち21,627,268円(10,000口当たり35円)を分配金額としております。

第101期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(17,814,143円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(103,266,229円)より分配対象収益は121,080,372円(10,000口当たり199円)であり、うち21,236,244円(10,000口当たり35円)を分配金額としております。

第102期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(16,435,734円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(98,594,744円)より分配対象収益は115,030,478円(10,000口当たり192円)であり、うち20,952,482円(10,000口当たり35円)を分配金額としております。

第103期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(20,262,022円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(93,444,600円)より分配対象収益は113,706,622円(10,000口当たり191円)であり、うち20,760,630円(10,000口当たり35円)を分配金額としております。

第104期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(14,875,847円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(91,881,488円)より分配対象収益は106,757,335円(10,000口当たり182円)であり、うち20,513,006円(10,000口当たり35円)を分配金額としております。

第105期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(15,073,373円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(84,092,046円)より分配対象収益は99,165,419円(10,000口当たり173円)であり、うち19,991,786円(10,000口当たり35円)を分配金額としております。

◎収益分配金のお知らせ

決 算 期	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
1万口当たりの分配金(税込み)	35円	35円	35円	35円	35円	35円

※分配金をお支払いする場合

分配金は、各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

※分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいてみなさまの口座に繰入れて再投資いたしました。

課税上の取扱いについて

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。また、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- 課税上の取扱いの詳細については、税務署等にお問い合わせください。

新興国通貨建国際機関債マザーファンド

運用報告書

第9期

(決算日 2017年11月24日)

「新興国通貨建国際機関債マザーファンド」は、2017年11月24日に第9期決算を行いました。
以下、当マザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	相対的に金利の高い新興国通貨建で信用力の高い国際機関債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数	債組比	券入率	純資産額
	期騰落	中率				
	円	%		%	%	百万円
(第5期) 2013年11月25日	16,296	16.6	250.96	16.5	95.2	9,845
(第6期) 2014年11月25日	18,716	14.9	292.39	16.5	93.0	8,023
(第7期) 2015年11月24日	15,775	△15.7	250.60	△14.3	95.8	4,345
(第8期) 2016年11月24日	14,264	△9.6	236.71	△5.5	93.4	2,983
(第9期) 2017年11月24日	15,598	9.4	269.89	14.0	95.3	2,421

(注1)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてJ Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

(注2) J PモルガンG B I - E Mグローバル・ダイバーシファイド(J Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド)はJ.P.Morgan Securities LLC(J Pモルガン)が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指数として広く認知されているものであり、J Pモルガンの知的財産です。J Pモルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。J PモルガンG B I - E Mグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)については基準価額との関連を考慮して前日の指数を記載しております。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数	債組比	券入率
	期騰落	中率			
	円	%		%	%
(期首)2016年11月24日	14,264	—	236.71	—	93.4
11月末	14,362	0.7	238.09	0.6	93.3
12月末	15,111	5.9	250.99	6.0	92.7
2017年 1月末	14,803	3.8	250.27	5.7	92.7
2月末	15,284	7.2	253.22	7.0	93.2
3月末	15,408	8.0	258.47	9.2	94.3
4月末	15,348	7.6	258.26	9.1	95.1
5月末	15,492	8.6	262.28	10.8	93.4
6月末	15,987	12.1	268.90	13.6	95.7
7月末	16,155	13.3	269.85	14.0	95.1
8月末	16,369	14.8	272.26	15.0	95.7
9月末	16,395	14.9	276.55	16.8	95.7
10月末	15,707	10.1	271.65	14.8	95.3
(期末)2017年11月24日	15,598	9.4	269.89	14.0	95.3

(注1)騰落率は期首比です。

(注2)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてJ Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2016年11月25日～2017年11月24日)

1 基準価額

(1) 基準価額の推移と主な変動要因



※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しております。

基準価額は期首14,264円で始まり、期末15,598円で終わりました。騰落率は+9.4%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

(上昇要因)

- ・組入債券の利息収入が積み上がったこと
- ・メキシコが期中に政策金利を5回引き上げたことなどから同国通貨が円に対して上昇したこと
- ・ブラジルがインフレの鎮静化を受けて期中に政策金利を8回引き下げたことなどから同国通貨建債券の価格が上昇(金利は低下)したこと

(下落要因)

- ・トルコの慢性的な経常赤字や根強いインフレ懸念、および米国との関係悪化などを受けて、同国通貨が円に対して下落したこと

(2) 参考指数との差異

当マザーファンドは新興国債券市場の動きを示すJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を参考指数としています。当期の同指数の騰落率は+14.0%となり、当マザーファンドの基準価額の騰落率は参考指数の騰落率よりも上昇率が小さくなりました。

2 運用経過

運用概況

当マザーファンドでは期首の運用方針に従い、主として新興国通貨建（ブラジルレアル、メキシコペソ、トルコリラ、南アフリカランド）で取得時においてA a a相当格の格付を取得している国際機関債等へ分散投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。流動性などを勘案し銘柄を絞り込み、経済動向、金利水準を分析し、これら4通貨が均等になるように、欧州投資銀行、欧州復興開発銀行、国際復興開発銀行、国際金融公社などの国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。期首においては債券の平均デュレーションは1.82年、銘柄数は14、期末現在のデュレーションは1.85年、銘柄数は16としました。

【信託財産の状況】

	期首	期末
外国債券	93.36%	95.35%
経過利息、現金等その他	6.64%	4.65%
組入銘柄数	14	16
デュレーション	1.82年	1.85年
残存年数	2.04年	2.03年
複利回り	9.49%	8.94%
格付		
A a a	100%	100%

※マザーファンドへの投資を通じた数値

※上記の格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズサービスによる格付を採用

各国の対円為替レートの推移



※各国の対円為替レート(対顧客電信売買相場の仲値等)は期首を100として指数化したものです。

3 今後の運用方針

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、国債機関債により4通貨が均等になるよう運用を継続します。当面デュレーションは期末現在の水準程度とします。

◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2016年11月25日～2017年11月24日		
	金額	比率	
(a) その他費用	3円	0.022%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は15,535円です。
(保管費用)	(3)	(0.020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	3	0.022	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◎売買及び取引の状況(2016年11月25日～2017年11月24日)

○公社債

			買付額	売付額
外	メキシコ	特殊債券	千メキシコペソ —	千メキシコペソ 29,833
	ブラジル	特殊債券	千ブラジルリアル 18,248	千ブラジルリアル 23,787
	トルコ	特殊債券	千トルコリラ 11,988	千トルコリラ 10,572
国	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカランド —	千南アフリカランド 25,127

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

◎主要な売買銘柄

○公社債

買付		当 期	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
INTL FIN CORP 10%(ブラジル)	387,029	INTL FIN CORP 10%(ブラジル)	572,723
INTL FIN CORP 11.5%(ブラジル)	156,760	INT BK RECON&DEV 13.625%(トルコ)	209,529
EUROPEAN INVT BK 8.5%(トルコ)	127,949	INT BK RECON&DEV 7.5%(メキシコ)	159,258
EURO BK RECON&DV 8%(トルコ)	120,439	INT BK RECON&DEV 9.5%(ブラジル)	142,212
INTL FIN CORP 10.75%(トルコ)	108,525	INTL FIN CORP 10.5%(ブラジル)	120,385
EURO BK RECON&DV 7.5%(ブラジル)	80,957	EUROPEAN INVT BK 5.75%(トルコ)	105,653
INTL FIN CORP 7.5%(ブラジル)	33,096	EUROPEAN INVT BK 6%(南アフリカ)	77,715
		INT BK RECON&DEV 8.75%(南アフリカ)	71,240
		EUROPEAN INVT BK 7.5%(南アフリカ)	44,788
		INTL FIN CORP 10%(ブラジル)	18,797

(注1)金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2)国内の現先取引によるものは含まれておりません。

◎利害関係人との取引状況等(2016年11月25日～2017年11月24日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	当 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
メ キ シ コ	千メキシコペソ 96,630	千メキシコペソ 95,442	千円 570,745	23.6%	—%	—%	21.3%	2.3%
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 17,130	千ブラジルレアル 17,932	620,113	25.6	—	—	10.9	14.7
ト ル コ	千トルコリラ 20,730	千トルコリラ 19,764	560,924	23.2	—	—	4.4	18.7
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 69,000	千南アフリカランド 69,405	557,328	23.0	—	—	15.2	7.8
合 計	—	—	2,309,111	95.3	—	—	51.9	43.5

(注1)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3)単位未満は切り捨て。

(注4)—印は組み入れなし。

(注5)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

銘柄名	種類	利率	期 額面金額	末 評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
				千メキシコペソ	千円	
(メキシコ)		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ		
EUROPEAN INVT BK 4.75%	特殊債券 (除く金融債)	4.75	12,000	11,119	66,496	2021/ 1/19
INT BK RECON&DEV 4%		4.0	9,330	9,114	54,501	2018/ 8/16
INT BK RECON&DEV 7.5%		7.5	68,300	68,737	411,047	2020/ 3/ 5
INTL FIN CORP 4.75%		4.75	7,000	6,471	38,699	2021/ 4/29
小計					570,745	
(ブラジル)			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
EURO BK RECON&DV 7.5%	特殊債券 (除く金融債)	7.5	2,250	2,267	78,404	2019/12/16
INTL FIN CORP 10%		10.0	9,880	10,316	356,751	2019/ 6/14
INTL FIN CORP 11.5%		11.5	4,000	4,366	150,990	2020/10/30
INTL FIN CORP 7.5%		7.5	1,000	982	33,967	2022/ 5/ 9
小計					620,113	
(トルコ)			千トルコリラ	千トルコリラ		
EURO BK RECON&DV 8%	特殊債券 (除く金融債)	8.0	4,100	3,909	110,958	2018/10/11
EUROPEAN INVT BK 5.75%		5.75	8,130	7,899	224,176	2018/ 4/ 3
EUROPEAN INVT BK 8.5%		8.5	4,500	4,164	118,182	2019/ 7/25
INTL FIN CORP 10.75%		10.75	4,000	3,791	107,605	2020/ 4/ 6
小計					560,924	
(南アフリカ)			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
EUROPEAN INVT BK 6%	特殊債券 (除く金融債)	6.0	10,500	10,187	81,802	2019/10/21
EUROPEAN INVT BK 7.5%		7.5	14,400	14,251	114,440	2020/ 9/10
EUROPEAN INVT BK 9%		9.0	13,100	13,266	106,528	2018/12/21
EUROPEAN INVT BK 9%		9.0	31,000	31,700	254,555	2021/ 3/31
小計					557,328	
合計					2,309,111	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注3) 銘柄名にある「EUROPEAN INVT BK」は「欧州投資銀行」・「EURO BK RECON&DV」は「欧州復興開発銀行」・「INT BK RECON&DEV」は「国際復興開発銀行」・「INTL FIN CORP」は「国際金融公社」です。

◎投資信託財産の構成

2017年11月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	2,309,111	95.3
コール・ローン等、その他	112,699	4.7
投資信託財産総額	2,421,810	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(2,404,390千円)の投資信託財産総額(2,421,810千円)に対する比率は99.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1メキシコペソ=5.98円、1ブラジルレアル=34.58円、1トルコリラ=28.38円、1南アフリカランド=8.03円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2017年11月24日現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	2,421,810,556
コール・ローン等	17,424,296
公社債(評価額)	2,309,111,513
未 収 利 息	83,867,938
前 払 費 用	11,406,809
(B) 負 債	1,042
そ の 他 未 払 費 用	1,042
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,421,809,514
元 本	1,552,616,642
次 期 繰 越 損 益 金	869,192,872
(D) 受 益 権 総 口 数	1,552,616,642口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,598円

◎損益の状況

自 2016年11月25日
至 2017年11月24日

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	207,033,308
受 取 利 息	207,033,308
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	67,174,695
売 買 益	177,501,703
売 買 損	△110,327,008
(C) 信 託 報 酬 等	△ 619,209
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	273,588,794
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	891,843,501
(F) 解 約 差 損 益 金	△296,239,423
(G) 計 (D+E+F)	869,192,872
次 期 繰 越 損 益 金(G)	869,192,872

(注1) 当親ファンドの期首元本額は2,091,377,219円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は538,760,577円です。

(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、高金利国際機関債ファンド(毎月決算型)1,552,616,642円です。

(注3) 1口当たり純資産額は1.5598円です。

(注4) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

豪ドル債マザーファンド

運用報告書

第9期

(決算日 2017年11月24日)

「豪ドル債マザーファンド」は、2017年11月24日に第9期決算を行いました。

以下、当マザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	豪ドル建国際機関債、ソブリン債（国債、政府機関債等）および豪ドル建地方債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債組比	券入率	純資産額
	円	騰落率 %		騰落率 %			
(第5期) 2013年11月25日	19,652	11.5	288.43	7.5	97.3		百万円 2,477
(第6期) 2014年11月25日	22,580	14.9	342.37	18.7	95.5		1,990
(第7期) 2015年11月24日	20,505	△ 9.2	311.45	△ 9.0	98.7		1,068
(第8期) 2016年11月24日	19,887	△ 3.0	303.66	△ 2.5	96.6		729
(第9期) 2017年11月24日	21,181	6.5	323.24	6.4	98.1		597

(注1) 当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてシティ世界国債インデックス(オーストラリア 国内投信用、円ベース)を記載しております。

(注2) シティ世界国債インデックスは世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。なお、Citigroup Index LLCは、ファンドの設定又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		債組比	券入率
	円	騰落率 %		騰落率 %		
(期首) 2016年11月24日	19,887	—	303.66	—	96.6	
11月末	20,179	1.5	308.01	1.4	96.5	
12月末	20,147	1.3	307.53	1.3	96.8	
2017年 1月末	20,697	4.1	315.82	4.0	97.0	
2月末	20,849	4.8	317.75	4.6	98.0	
3月末	20,836	4.8	317.26	4.5	97.6	
4月末	20,352	2.3	309.70	2.0	97.5	
5月末	20,436	2.8	313.21	3.1	97.1	
6月末	21,147	6.3	323.65	6.6	98.4	
7月末	21,632	8.8	328.64	8.2	98.0	
8月末	21,564	8.4	327.52	7.9	98.3	
9月末	21,803	9.6	328.68	8.2	97.9	
10月末	21,591	8.6	326.42	7.5	97.3	
(期末) 2017年11月24日	21,181	6.5	323.24	6.4	98.1	

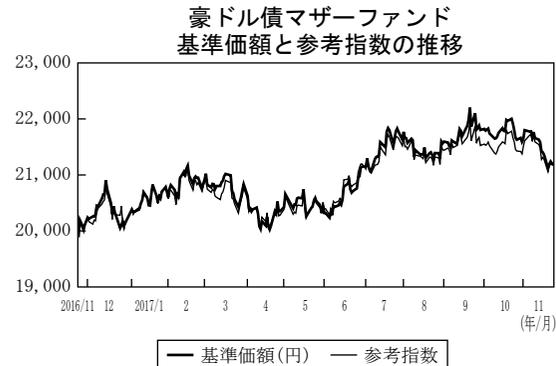
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてシティ世界国債インデックス(オーストラリア 国内投信用、円ベース)を記載しております。

◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2016年11月25日～2017年11月24日)

1 基準価額

(1) 基準価額の推移と主な変動要因



※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しております。

基準価額は期首19,887円で始まり、期末21,181円で終わりました。騰落率は+6.5%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

(上昇要因)

- ・組入債券の利息収入が積み上がったこと
- ・豪州の主要貿易相手国である中国の景気回復が下支えとなり、豪ドルが円に対して強含みもみ合いで推移したこと

(2) 参考指数との差異

当マザーファンドはオーストラリア国債市場の動きを示すシティ世界国債インデックス(オーストラリア 国内投信用、円ベース)を参考指数としています。当期の同指数の騰落率は+6.4%となり、当マザーファンドの基準価額の騰落率は参考指数の騰落率よりも上昇率が若干大きくなりました。

2 運用経過

運用概況

当マザーファンドでは期首の運用方針に従い、取得時においてA a a相当格の格付を取得している豪ドル建国際機関債に分散投資し信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指し運用を行いました。当期においては欧州投資銀行、アフリカ開発銀行、国際復興開発銀行などの国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。期首の債券の平均デュレーションは3.81年、銘柄数は5、期末現在のデュレーションは3.52年、銘柄数は6としました。

【信託財産の状況】

	期首	期末
外国債券	96.56%	98.09%
経過利息、現金等その他	3.44%	1.91%
組入銘柄数	5	6
デュレーション	3.81年	3.52年
残存年数	4.30年	3.91年
複利利回り	2.68%	2.39%
格付		
A a a	100%	100%

※マザーファンドへの投資を通じた数値

※上記の格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズサービスによる格付を採用

対円為替レートの推移



※上記通貨の対円為替レート(対顧客電信売相場)は期首を100として指数化したものです。

3 今後の運用方針

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、アフリカ開発銀行、欧州投資銀行、国際復興開発銀行などの国際機関債中心の運用を継続します。当面デュレーションは期末現在の水準程度とします。

◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2016年11月25日～2017年11月24日		
	金額	比率	
(a) その他費用	5円	0.024%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は20,936円です。
(保管費用)	(4)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(1)	(0.003)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	5	0.024	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◎売買及び取引の状況(2016年11月25日～2017年11月24日)

○公社債

			買付額	売付額
外国	オーストラリア	特殊債券	千オーストラリアドル 1,106	千オーストラリアドル 2,623

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

◎主要な売買銘柄

○公社債

		当 期	
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
AFRICAN DEV BANK 5.25%(オーストラリア)	千円 96,192	INT BK RECON&DEV 5.75%(オーストラリア) EUROPEAN INVT BK 6%(オーストラリア) EUROPEAN INVT BK 6.5%(オーストラリア) EUROPEAN INVT BK 4.75%(オーストラリア)	千円 178,536 27,094 14,032 7,446

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

◎利害関係人との取引状況等 (2016年11月25日～2017年11月24日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリアドル 6,230	千オーストラリアドル 6,896	千円 585,658	% 98.1	% —	% 22.6	% 55.6	% 19.9
合 計	6,230	6,896	585,658	98.1	—	22.6	55.6	19.9

(注1)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3)単位未満は切り捨て。

(注4)—印は組み入れなし。

(注5)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

銘 柄 名	当 期			末			償 還 年 月 日
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額			
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(オーストラリア)		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円		
AFRICAN DEV BANK 5.25%	特殊債券 (除く金融債)	5.25	1,000	1,112	94,498	2022/ 3/23	
EUROPEAN INVT BK 4.75%		4.75	1,420	1,587	134,791	2024/ 8/ 7	
EUROPEAN INVT BK 6%		6.0	1,000	1,098	93,305	2020/ 8/ 6	
EUROPEAN INVT BK 6.25%		6.25	1,500	1,697	144,136	2021/ 6/ 8	
EUROPEAN INVT BK 6.5%		6.5	10	10	911	2019/ 8/ 7	
INT BK RECON&DEV 5.75%		5.75	1,300	1,389	118,013	2019/10/21	
合 計					585,658		

(注1)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注3)銘柄名にある「AFRICAN DEV BANK」は「アフリカ開発銀行」・「EUROPEAN INVT BK」は「欧州投資銀行」・「INT BK RECON&DEV」は「国際復興開発銀行」です。

◎投資信託財産の構成

2017年11月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	585,658	98.1
コール・ローン等、その他	11,405	1.9
投資信託財産総額	597,063	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(593,958千円)の投資信託財産総額(597,063千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=84.92円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2017年11月24日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	597,063,952
コール・ローン等	3,105,238
公社債(評価額)	585,658,168
未 収 利 息	7,918,406
前 払 費 用	382,140
(B) 負 債	248
その他未払費用	248
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	597,063,704
元 本	281,889,192
次 期 繰 越 損 益 金	315,174,512
(D) 受 益 権 総 口 数	281,889,192口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,181円

◎損益の状況

自 2016年11月25日
至 2017年11月24日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	34,933,916
受 取 利 息	34,933,916
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	12,587,581
売 買 益	22,858,654
売 買 損	△ 10,271,073
(C) 信 託 報 酬 等	△ 167,045
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	47,354,452
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	362,776,243
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 94,956,183
(G) 計 (D+E+F)	315,174,512
次 期 繰 越 損 益 金(G)	315,174,512

(注1) 当親ファンドの期首元本額は366,933,009円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は85,043,817円です。

(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、高金利国際機関債ファンド(毎月決算型)281,889,192円です。

(注3) 1口当たり純資産額は2.1181円です。

(注4) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。